

# 雪の白さに

(昭和五十九年寮歌)

浜田和雄君 作歌  
青木毅君 作曲

一

雪の白さに映ゆる我等が恵迪寮  
吹雪逆巻く日もあれど  
正義の迪を見定めて  
真実求むは風の教へなり

二

土の黒さに萌ゆる新たな芽が一つ  
雨風寒さに怯ゆるとも  
宴討論酔ひしれて  
恵迪に根づくは土の教へなり

三

空の青さに育つみんなの自治意識  
熱風日干の害あれど  
理想高く足は大地につきて  
汗を流すは陽の教へなり

四

秋の疾風に聳ゆ大きな林檎の木  
頂上の実が墜つるとも  
その精神もて糧として  
自律目指すは生命の教へなり